

ほんわ館だより

令和7年10月発行
第157号

中山町立図書館
開館 9:00～19:00
休館日 10/6.14.20.27



10月の展示コーナー



★おすすめコーナー 『ペット～動物好きにはたまらない！～』

★児童書コーナー

- ・絵本コーナー 『ハロウィン！ハロウィン！』『モフモフ モフモフ』
- ・円形コーナー 『ひみつの本』
- ・空中図書コーナー 『まほうの本』 ・小学生おすすめコーナー

★2階掲示板 『見るだけでも楽しい本』 『日本のこと』



★今月のおはなし会★

今月のおはなし会はおやすみです



お知らせ

11月から4月まで開館時間が10時から19時までとなります

『ほんわ館まつり2025』を開催します

10月25日(土) 9:00～17:00

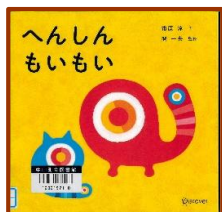
今年もDuo dolceさんによるミニコンサートのにワークショップ、雑誌のリサイクルなどの楽しい催し物が盛り沢山!!詳しい内容はチラシやほんわ館ホームページをご覧ください。お楽しみに♪



新着 最近入った本を紹介します

※ここに紹介した他にもたくさん入っています

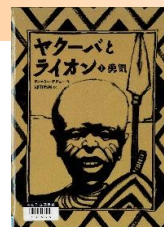
【児童書(えほん)】



◀『へんしん もいもい』
市原 淳/作
デイスカヴァー
トゥエンティワン



◀『いちにちのおこめ』
ふくべ あきひろ /さく
PHP研究所



(I 勇気)

(II 信頼)



◀『ヤクーバとライオン』
ティエリー
テデュー/作
講談社

【文芸書】書名	編著者名	【児童書】書名	編著者名
本でした	又吉 直樹/著	みちのく妖怪ツアー 8	佐々木 ひとみ/作
新・教場 2	長岡 弘樹/著	魔法学校のプリンセス	ティー スティルトン/作
翠雨の人	伊予原 新/著	ルルとララのふわふわオムレット	あんびる やすこ/作 絵
イクサガミ 神	今村 翔吾/著	セカイの千怪奇 5	木滝 りま/作
13月のカレンダー	宇佐美 まこと/著	理科のなぞ解き大作戦(1・2)	となりのきょうだい/原作
一橋桐子(79)の相談日記	原田 ひ香/著	【教養書】書名	編著者名
白魔の檻	山口 未桜/著	使いきれない農地もつと活用読本 続	農山漁村文化協会/編
百年の時効	伏尾 美紀/著	叱らない時代の指導術	島沢 優子/著
今日未明	辻堂 ゆめ/著	師匠はつらいよ 2	杉本 昌隆/著
鎌倉茶藝館	伊吹 有喜/著	本を読む人はうまくいく	長倉 顕太/著
あなたが僕の父	小野寺 史宜/著	レアベジ 育てないと食べられない激レア野菜	藤田 智/監修
誰でも、みんな知っている	高橋 源一郎/著	シニアのための筋トレ学	石井 直方/著
涙の箱	ハン ガン/作	墓じまい	吉川 美津子/著
最果ての子供たち	ニコラ マチュー/著	音声と写真でよみがえる昭和	保阪 正康/著

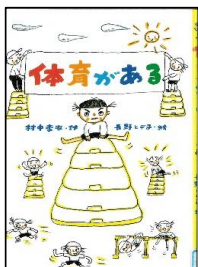


本の歳時記



ースポーツを楽しむー

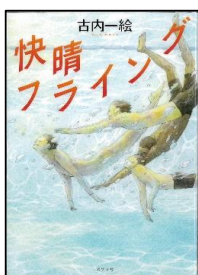
10月の第2月曜日は「スポーツの日」です。スポーツを楽しみ、健康で活気ある社会の実現を願い制定されました。そして、中山町も「スポーツとフルーツ…」をキャッチフレーズに、町をあげてスポーツを推進しています。でも、中にはスポーツが苦手で、学校での体育の時間や運動会が憂鬱だった人もいないではないでしょうか。今月は、そんな「スポーツ嫌い」も楽しめる作品をご紹介します。



『体育がある』

『体育がある』(村中李衣//作 長野ヒデ子//絵 文研出版葉社)

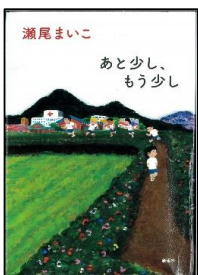
体育が嫌いな小学4年生の亀山あこ。飛び箱は飛べないし、逆上がりもできない。ママは、「嫌なことから逃げる子にはしたくない」と、せっせと練習をさせます。ところが、やり過ぎて大怪我をしそうになります。そんな時、あこのありのままを受け入れてくれる、ばあばがやってきて…。体育をめぐって自分に向き合い成長していく女の子を、ユーモアたっぷりに描いた物語です。小学生向けの本だけれど、大人へのメッセージも感じられる作品です。



『快晴フライング』

『快晴フライング』(古内一絵//著 ポプラ社)

中学生の龍一が所属する水泳部は、主将が交通事故で亡くなったことで部員の大部分が退部してしまい、顧問からは廃部を持ちかけられます。主将代理となった隆一は、「今年も都大会に出ますよ」と啖呵を切ったものの、残った部員は3年生2人とダメダメな2年生3人だけ。部の再建に向けてスカウトを始めますが…。トランスジェンダーに悩む美貌の女子部員を交え、個性豊かな面々が、いつの間にかお互いを必要とし寄り添いながら成長していく姿を描きます。



『あと少し、もう少し』

『あと少し、もう少し』(瀬尾まい子//著 新潮社)

市野中学校の陸上部は、駅伝の地区大会で毎年ギリギリで県大会に進出しています。これまで部を引っばってきた顧問が異動になり、代わりにやって来たのは頼りない美術の教員。県大会を目指して練習を始めるものの長距離を走れる部員は3人だけ。駅伝チームを結成するために助っ人を募集しますが、集まったのは陸上競技とは無縁のものばかり。駅伝の1区から6区、それぞれの区間を走るメンバーは、それぞれが悩みや葛藤を抱えながらも、県大会出場を目指して襷をつなぎます。あと少し、もう少し、みんなと走りたい。

ほんわ館で読まれています

『マスカレード・ライフ』

東野 圭吾//著 集英社



ホテル・コルテシア東京で開かれる文学賞選考会。最終候補者のなかに、ある死体遺棄事件の重要参考人が…。警視庁を辞め、コルテシア東京の保安課長となった新田浩介が始動する!

『いとしきもの』 森、山小屋、暮らしの道具

小川 糸//著 文藝春秋



コロナ禍での離別を経験し、都会での生活を離れ、森へと移住。大好きな器やアートに囲まれ、自然との対話を楽しむ日々を綴った、カラーフォト満載のエッセイ集。

『暮らし上手な人の、節約のくふう』

TJ MOOK 宝島社



長い老後に備えて無理せず出費を減らしませんか? お金と上手につきあう素敵な人たちの暮らしや楽しくメリハリのある節約術、お金のプロが提案するお金の不安に対する対処法等を紹介。

『夫婦じまい』(えにし屋春秋[3])

あさの あつこ//著 角川春樹事務所



才蔵がお初に助力を乞うてきた。米問屋の出戻り娘・お藍のための新たな嫁入り先探しだという。2年足らずで戻ってきたお藍は、今は実家で幸せだと言いつつ、なにかに怯えている様子で…。